

○婦中地区タウンミーティング会議録(概要)

日 時:令和元年9月28日(土)

午前10時から午前11時15分まで

場 所:音川小学校

出席者:約100人

テーマ1 富山市の子育て支援策について:こども家庭部

<主な説明事項>

- 1 富山市の総人口と子ども人口、出生数の推移
- 2 平成29年4月こども家庭部の新設
- 3 こども家庭部の主な事業

【こども家庭部の説明に対する質問】

なし

テーマ2 富山市農業の振興施策について:農林水産部

- 1 富山市の農家数、農業就業人口の年齢別割合の推移
- 2 富山市の耕作放棄地面積
- 3 富山市農業・農村振興計画の策定
- 4 富山市の農業振興施策
- 5 主な鳥獣対策
- 6 営農サポートセンター事業

【参考】音川地区の作物作付内訳

【農林水産部の説明に対する質問】

・エゴマの栽培方法が確立されていません。以前は富山市農業センターにおいて自然薯(じねんじょ)や、トマトなどの栽培研究、栽培指導などを行う研究職を育てていたと思われま
す。エゴマについても栽培方法を確立したうえで、農家に栽培できる形で普及し
てほしいです。

(農林水産部次長)

営農サポートセンターは、平成 20 年以前は富山市農業センターとの名称でした。富山市農業センターにおいては、作物の栽培方法や栽培研究を行い、普及する段階において農家の皆さまへ栽培の指導を行ってまいりました。平成 20 年に営農サポートセンターへ名称の変更を行い、業務内容が大きく変わったことから栽培試験についても、平成 20 年度からは行っておりません。

エゴマの栽培は、平成 25 年度から山田地域において手探りの状態で始まりました。それ以前は大沢野の下夕地域で栽培されていました。山田地域で栽培が始まり既に 5 年、6 年経過しますが、ご指摘のとおり栽培方法が確立されていません。当初は、エゴマは生育に強い作物であって虫もつかない、肥料もそれほど必要ではないという概念で栽培を始めましたが、現在ではその概念は間違いであったのではないかと思えるようになってきました。

今年度から、営農サポートセンターで基本的な試験、調査を再度実施しており、今後検証してまいりたいと考えております。エゴマの実際の生態が把握できるまで、今後 2、3 年は必要と考えております。恐らく、今まで言われてきた通説を覆す形になるかと思われませんが、新たな栽培方法を示すことができれば、農家の皆さまに指導していき、もっと安定し、採算のとれるエゴマ栽培を目指すことができると考えております。今後の営農サポートセンターの動向を皆さんにも注意深く見ていただきたいと思います。と考えております。

【その他意見交換】

なし

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)